



イベント火災を防ごう

2016年東京でイベント火災が発生し子供の命を落としてしまいました、我々も年間ワークショップ・イベント等を数回行っています・・・一見扱いやすい電気も間違わないよう電気に潜む危険性についておさらいしたいと思います。

あかりを使って美しさの表現を優先させた為、潜んでいた危険を予測できず大変な事故を招いてしまったと想像されます。発火したのは、白熱電球熱と酸素と可燃物（カンナ板）火の三要素が揃ったからです。

白熱電球は熱温度放射による温度と密接な関係あります、他の2種類の発光の仕組みは熱温度放射と違い電気を使用した照明に使われる光源は、3種類の原理に分かれます。

- 温度放射光源（白熱電球）・・・熱による あかり。
- エレクトリック・ルミネセンス・・・熱によるあかりでない。

蛍の発光？

放電発光・・・蛍光灯・水銀ランプ等

電界発光・・・LED・有機EL等

周囲にLEDが出回ってきて、同じ仕組みのあかりと同じにしないで気を付け、この発熱現象を忘れないようにし、火災事故を起こさないようにしましょう！

- 他にも注意しましょう

よく使われる 壁・床 等に設置されているコンセントの電気容量はどのくらい使えるかわかっていますか？

通常 1KWですね・・・そこに使われる延長コードも1KWまでです。（アイロン・ドライヤー・電子レンジ）なら1台です。延長コードには、数口のコンセントがあり便利ですがこれも接続した機器の合計W数を足し算して1KWを超えないようにしましょう。

- 身近では、焼肉を数人で電気プレートを2台使用して延長コードが熱をもってしまった。

- イベントでドライヤーを数台使用したら、ブレーカーが飛んでしまった。

- 小さいころ部屋でお化け屋敷を作っていて、暗くするために白熱電球に風呂敷をかけ遊んでいたら・・・突然風呂敷が燃え出した。そのあと消化してくれた親父からパンチをもらい・・・目からも火が出た。

イベントを行う時は、経験ある人・知識のある人のアドバイスを受けましょう。

